

農業を通して、広がる交流♪

農業体験の受入農家を募集しています



市では、平成 11 年より首都圏の小・中学校を中心に農業体験を受け入れており、現在、市内において約 70 軒の農家の皆様に農業体験の受入を行っていただいております。

未来を担う子どもたちに、農業体験を通じて、命を支える農業の大切さ、実情、楽しさなどを伝えるべく、農業体験の受入に御協力いただける農家を募集しておりますので、興味のある方は事務局まで御連絡ください。

1 主な内容

受入農家の条件

畑で野菜などを作っている農家や果樹農家、酪農家など

受入の時期

5 月から 11 月まで

受入の内容

受入人数は 1 回あたり 5 人から 8 人程度です。日頃の農作業を児童生徒に手伝ってもらいます。

【農作業の例】

- 春 石拾い、野菜の苗植え、苗運び、田植え、苗箱洗い、わら敷き、支柱立て、リンゴなどの摘果など
- 夏 野菜の収穫、草むしり
- 秋 野菜の収穫、秋野菜の苗植え、畑の片付け、稲刈り作業

※その他、農作業や農家の話、農具の話など農作業に関する様々な事柄が体験できれば内容は問いません



**農業体験を受け入れると
こんな良いことが！**

◆体験を通じた交流の創出と生きがいづくり！

教育旅行で訪れる学生は、ほとんど農業のことを知りません。“こんなことで驚いてくれるのか”とこちらが驚くことがけっこうあります。

◆農作業の負担が軽減される！？

児童生徒に日頃の農作業を手伝ってもらえることから、農作業が楽になります。

◆新たな収入源を確保できます！！

受入いただいた際には、体験指導料をお支払いしますので、副業として収入が見込めます。

【体験指導料の支払例】

1 日コース 約 3,500 円 × 受け入れた生徒の人数

2 農業体験受入の流れ

【午前 9 時～午後 3 時の例】

各地区での開校式（対面式）

開校式では、お世話になる農家さんにあいさつし、各農家に分かれて体験を行います。

農家の皆さんは農業の先生として、また、短い時間ですが家族の一員として温かい気持ちで温かく迎えてください。



受入農家での農業体験

子どもたちに農家がその日行う農作業を体験してもらいます。初めて農作業を行う子どもがほとんどであるため、驚きや感動を味わう様子を見ることが出来ます。丁寧に指導し、楽しい時間を過ごしてください。



子どもたちとの交流（昼食等）

昼食の提供ができる場合は、カレーライスやおにぎり、野菜の煮物や油みそなど、普段のお昼ご飯として食べているものを提供してください。一緒に作ったり、後片付けを一緒にしたりする農家さんもあるようです。

農家での閉校式（お別れ）

農家さんとお別れの時。生徒も受入農家さんもたくさんの思い出をお土産にお別れです。

私は、野菜が嫌いでしたが、農業体験を通して「食べ物の大切さ」を学びました。
頑張って作っている農家さんのことも考えずに「おいしくない」と思っていたけど、今は違います。まだ苦手だけど少しずつ慣れて食べていこうと思います。



**体験後
の感想**



農業の楽しさを知り、自分の将来についても考えることができました。今まであまり関わりのなかった「農業」という職業への見方も、物を作り出す素晴らしい職業だと考えるようになりました。

お申込み、お問い合わせは・・・



（一社）喜多方観光物産協会グリーン・ツーリズムサポートセンター

〒966-0024 喜多方市熊倉町熊倉字大竹 1364 番地

TEL／0241-24-4488 FAX／0241-24-4489

E-mail／gt@kitakata-kanko.jp

ホームページ／<http://www.kitakata-kanko.jp>